

思いやりの心を政治の場に



港区議会議員・自由民主党港区総支部 幹事長

清原 かずゆき

区政レポート

平成30年4月発行

2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催まで2年余りとなり、区も様々な取組を行っております。区では今年の12月2日に港シティハーフマラソンを開催することになりました。健康者・障害者の垣根を越えて区民一人ひとりが手をつないでこの催しを契機に、さらなるオリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成となるよう、私も、努めてまいります。

昨年、9月に開催されました第60回自由民主党港区総支部の定期大会において幹事長を拝命いたしました。今後も引き続き魅力ある港区づくりに邁進してまいります。また、11月には、母校、朝日中学校の第10回同窓会総会が白金の丘学園で開かれました。総会では諸先輩が大勢いらっしゃる中で不肖、私が、幹事の任命を受けました。先輩方が築かれた歴史、伝統や名誉を汚さぬよう努めて参ります。

さて、平成30年度予算案を審議する予算委員会では、歳入・総務費・環境費・民生費・土木費・教育費の款で質問致しましたので、各質問の項目と答弁を記載しました。ご一読いただければ幸甚です。

皆様からお預かりした税金や保険料等が、有効活用されているか、常に運用状況を注視することはもとより、行財政改革の推進や福祉施策の充実や向上等、各行政分野の取組みをチェックし、区民の誰もが安全で安心して住み続けられる港区づくりに真摯に努めて参ります。今後共、皆様の忌憚のない貴重なご意見をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。

区議会等での経歴

平成27年4月、3期目選出

現在◆保健福祉常任委員会委員

交通・環境等対策特別委員会委員

◆東京都後期高齢者医療会計（港区選出）

◆自民党港区総支部 幹事長

経歴◆港区監査委員（議会選出）

区民文教常任委員会委員長

建設常任委員会委員長

総務常任委員会委員・行財政等、まちづくり・子育て等、東京オリンピック・パラリンピック、エレベーター事故対策特別委員会委員

◆自民党議員団副幹事長、政務調査会会長

◆港区中小企業振興審議会委員、港区中小企業融資料率審査会委員、港区奨学資金運営協議会委員、港区青少年問題協議会委員、港区消防団運営委員会委員、港区国民健康保険協議会委員他

◆自民党港区総支部総務会長、事務局長代理、会計

プロフィール

経歴◆昭和34年7月2日 白金生まれ 58歳

聖徳学園三田幼稚園

区立三光小学校、区立朝日中学校、

都立三田高校、

昭和57年 日本大学工学部卒業

◆元都議会議員清原錬太郎秘書(20有余年)

◆元港区立三光小学校PTA会長(3期3年)

現在◆清原タレット工業所 清原マンション経営

◆芝納税貯蓄組合連合会 副会長

芝青色申告会 理事

白金地区防災協議会 会計監査

青少年対策白金地区委員会相談役(元会計監査)

高輪工業会 理事、第三分会 副分会長

朝日中学校同窓会 幹事

白金三光町会 副会長

趣味◆野球(元三光シニア、元ファミリーズに所属)

サッカー(朝日中、三田高校サッカー部に所属)

日曜大工

裏面に各項目の質問と答弁を記載しております。

◆平成30年度 予算特別委員会

(1) 特別区民税収入について

①平成29年度の収入未済額と不納欠損額について

答弁(税務課長) 収入未済額は24億4千万円余、不納欠損額は4億6千万円余、前年度より減少と見込んでいる。

②均等割額と所得割額の収入見込みについて

答弁(税務課長) 均等割額は、約5億2千万円、所得割額は約696億7千万円と見込んでいる。

③給与所得控除改正の影響について

答弁(税務課長) 平成29年度の課税実績に基づくと、高額所得者層の控除額の縮小により対象者数は31,700人余で、1億6800万円余の区民税の増加を見込んでいる。

④特別徴収義務者指定により指定される事業者となられた件数と、特別徴収に変更となった納税者数について

答弁(税務課長) 平成29年度課税状況調べでの、事業者は、3,230社、特別徴収の納税義務者数は7,345人増加。

(2) - ①旧神応小学校の今後の利活用について

答弁(用地・施設活用担当課長) 旧神応小学校は、閉校後の暫定活用期間中も地元町会やスポーツ団体の皆様の活動にご利用いただいている。また、現在高輪地区総合支所と連携して、地元町会の会長の皆様をはじめ、旧神応小学校を拠点に活動しているグループの代表の方々との運営に関する懇談会を定期的に行っている。地元町会からは、今後の利活用に関して、地域コミュニティの場や防災の拠点として利用されたいのご要望をいただいている。

②地域の皆様から要求された利活用にどのように応えていかれるのか

答弁(用地・施設活用担当課長) 旧神応小学校は、様々な地域活動の拠点であり、また、地域の皆様は強い愛着を感じている。まちづくりや港区の人口動向などを見据えながら、地域の皆様とのこれまでの経緯を踏まえて、地域の課題解決を図ることができる活用方法を検討していく。

(3) - ①マラソン大会を盛上げるために著名なアスリート等の参加や各総合支所を巡回するコース設定を望むが

答弁(企画課長) 都心である港区特有の課題が多い、第1回開催については実現を優先してまいります。

②魅力あふれる企画が重要だと考えるが

答弁(企画課長) 著名なアスリートの参加を促す等、アイデアや工夫は数多くある。実行委員会で決定していく。

(4) - ①緑被率向上の取組について伺う

答弁(環境課長) 緑視率の向上にも寄与する等、緑の創出を図る緑化施策について検討していく。

②区民が憩える緑の創出について

答弁(環境課長) 2020年までに区が目指す4つの目標を定

めている。目標達成に向けて取り組んでいく。

(5) - ①精神障害者の緊急一時保護について

答弁(障害者福祉課長) 高齢化してきたご家族が体調を崩し入院、又、冠婚葬祭で外出する際に、精神障害者が短期的に利用できる施設が区内にほしいという意見を伺っている。

②これからの支援策をどのように考えているのか

答弁(障害者福祉課長) あいはいと・みななどの改築において整備する宿泊を伴う生活体験の場2部屋を活用して、緊急時にも対応できるよう検討を進めていく。

(6) 五之橋の架け替えについて

答弁(土木課長) 五之橋、下流域の護岸工事等により遅れる。工事は平成33年度以降になると見込んでいる。

(7) 白金・白金台地域への新たな交通手段の導入について

答弁(地域交通課長) 白金・白金台地域は、最寄駅やバス停までの距離が地形的な高低差により特に高齢者や障害者、妊産婦等の交通弱者にとって移動が困難なエリアを多く含んでいると認識し、地域交通の整備をしていく。平成30年度に行うモニター実験を十分にご利用いただいたうえで効果検証を行い、また、様々なご意見、ただいま清原委員のご提案なども含めまして、検討しながら必要な改善や工夫を行って、本格実施を目指したいと思う。

(要望) 「ちいパス」の高輪ルートの一部変更する陳情書が第一三光町会、一心会、尚礼会町会、田島町町会、白金三光町会、新広尾古川町会、白高町会から区長宛に提出されています。陳情の意をおくみいただき、引き続き検討され、1日も早く実現されるようお願い致します。

(8) 子どもの心境の把握について

答弁(指導室長) 教員は、子どもの状況を把握した上でアドバイスや励まし、共感など、子どもの気持ちを理解し、寄り添うことが重要。そのため、日頃から子供の性格やコミュニケーション力、家庭環境などを把握し、日々、表情等を読み取り、落ち込んでいる状況を把握した場合は、教員から積極的に声をかけるなど、相談しやすい環境を整えている。

(9) 30年度から道徳教育が教科となる。指導法について

答弁(指導室長) 道徳の授業において、子ども同士が考え議論する道徳を進めていくことで、道徳的価値を磨き、判断力を高めるほか、実践する意欲や態度を育てていく。